

2020 年 12 月 9 日

各位

小野薬品工業株式会社

CDP2020【気候変動】において、3年連続で「Aリスト」に選定される

小野薬品工業株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：相良 暁、以下、当社）は、国際環境非営利団体である CDP より、気候変動に対する対策が評価され、CDP2020【気候変動】において、権威ある A リストに 3 年連続で選定されましたのでお知らせします。



当社は、中長期環境ビジョン（ECO VISION 2050）のもと、脱炭素社会の実現を重要分野の 1 つとして定め、事業活動に伴って排出される温室効果ガスの削減に向けて取り組んでいます。

今後も当社は、革新的な医薬品の創製によって社会に貢献するとともに、取引先と協働しつつ、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進してまいります。

CDP について

CDP は、環境問題に高い関心を持つ世界の機関投資家や主要購買企業の要請に基づき、企業や自治体に、気候変動対策、水資源保護、森林保全などの環境問題対策に関して情報開示を求め、また、それを通じてその対策を促すことを主たる活動としている非営利組織です。2020 年度は、運用資産規模で 106 兆米ドルに達する 515 社強の機関投資家と調達規模で 4 兆米ドルに達する 150 社強の購買組織が CDP の活動に賛同し、世界の時価総額 50%強となる 9,600 社強の企業と世界各地の数百の自治体が CDP を通じて環境情報開示を行いました。CDP は、現在、環境問題に関して世界で最も有益な情報を提供する情報開示プラットフォームの一つとなっています。また、CDP は We Mean Business 連合の創設メンバーです。詳しくは、次の Web サイトを参照ください。<https://cdp.net/en>

CDP 評価について

CDP の年次の環境情報開示とその評価プロセスは、企業の環境情報開示におけるグローバルスタンダードとして広く認知されており、2020 年度は、過去最高の 9,600 社強の企業が回答に応じました。回答企業は、CDP の開示の包括性、環境リスクの認識と管理、野心的な目標の設定などに関する基準のもと、A から D- のスコアを付与されます。また、情報開示を行わない、あるいは十分な情報を提供しない企業は、F とされます。

気候変動 A リストや評価方法などの詳細は、次の CDP の Web ページで閲覧可能です。

<https://www.cdp.net/en/companies/companies-scores>

<本件に関するお問い合わせ>
小野薬品工業株式会社 広報部
TEL : 06-6263-5670
FAX : 06-6263-2950